

## 2021年度 航空機事故消火救難総合訓練の実施について

南紀白浜空港において、下記のとおり航空機事故消火救難総合訓練を実施しますので、お知らせします。

本訓練は、航空機事故により航空機火災や多数の負傷者が発生した場合を想定し、南紀白浜空港緊急時対応計画に基づき空港内外の関係機関連携のもと実践的な消火救難訓練を実施することで、各機関の役割や対応手順、連携方法についての共通認識を持つとともに、更なる連携強化を図り、もって航空機事故発生時における迅速かつ適切な消火救難活動及び救急医療活動を実施することを目的とします。

株式会社南紀白浜エアポートでは、これからも、お客様が安全・安心にご利用いただける空港を目指し、定期的な訓練の実施に取り組んでまいります。

### 記

#### 1 日時

2021年11月6日（土）14時30分から16時30分まで  
（小雨決行、予備日なし）

#### 2 場所

南紀白浜空港サウスエプロン

#### 3 主催

株式会社南紀白浜エアポート

#### 4 訓練想定

ボーイング 737-800 型機（乗客 115 名、乗員 5 名）が南紀白浜空港着陸時（使用滑走路 R/W33）に強い衝撃を受け、滑走路で停止後に第 1 エンジンより出火。漏れ出た燃料により機体が炎上し、多数の負傷者が発生している模様である。

※ 事故想定場所は滑走路としているが、空港運営上の観点から、訓練場所はサウスエプロンとする。

#### 5 訓練項目

- ① 関係機関への緊急通報訓練
- ② 情報収集・伝達訓練
- ③ 消防指揮所、現場調整所、救護所等設営訓練
- ④ 臨時ヘリパッド設置訓練
- ⑤ 消火訓練（空港消防による初期消火、自治体消防との合同消火）
- ⑥ 搭乗者の避難誘導訓練
- ⑦ 救急医療活動訓練（トリアージ、救護等）
- ⑧ 負傷者搬送訓練

## 6 訓練の主眼

### (1) 実践的要素の追加

- 実際の事故対応をイメージしたタイムスケジュールに基づき各種活動を展開。
- 事故想定機の大きさ及び形状を踏まえてカラーコーンを配置し模擬航空機とすることで、実機をイメージした実践的な消火活動を実施。

### (2) 継続的な消火活動の実施

- 消火活動の長期化を想定し、空港消防と自治体消防の連携による泡生産用水及び泡消火薬剤の補給等を行い、消火活動の継続性を確保。

### (3) 多機関連携の向上

- 搭乗者名簿による照合・安否確認等、航空機事故特有の課題を踏まえ、各機関の役割や対応手順、連携方法について共通認識を持ち、連携向上を図る。

## 7 訓練参加機関（22 機関）※一部機関は、情報伝達訓練のみ参加又は搭乗者役として参加

### (1) 空港関係機関

国土交通省大阪航空局南紀白浜空港出張所、(株)サンネクト南紀白浜空港分室航空気象グループ、和歌山県防災航空センター、日本航空(株)南紀白浜空港駐在員事務所、(株)JAL エンジニアリング南紀白浜空港整備事業所、協和商事(株)南紀白浜航空給油所、(株)セノン南紀白浜出張所、(株)アワーズ、ニッポンレンタカー関西(株)南紀白浜空港営業所、(有)福亀堂、ユーロテックジャパン(株)、(株)NWS、(株)南紀白浜エアポート

### (2) 消防機関

白浜町消防本部、田辺市消防本部

### (3) 警察機関

白浜警察署、和歌山県警察航空隊

### (4) 医療機関

紀南病院、南和歌山医療センター、白浜はまゆう病院

### (5) 行政機関

和歌山県県土整備部港湾空港局港湾空港振興課、白浜町地域防災課

## 8 参加人員及び車両等

人員約 100 名、車両 9 台、ヘリコプター1 機（和歌山県防災ヘリコプター）

## 9 訓練の中止等

気象状況等による訓練中止の判断は、訓練当日の 12 時までに主催者が決定する。

小雨の場合は、規模を縮小し実施する。

## 10 その他

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで訓練を実施する。

- 訓練前に検温を実施
- 訓練会場に消毒液を設置し、手指消毒を徹底
- 屋内で実施する訓練は、最小人員で実施
- 訓練前と後で、手洗い・うがいを励行

<お問い合わせ先>

株式会社南紀白浜エアポート 担当：千田・河野

電話：(0739)43-0095 E-mail：info@nsap.co.jp